

# やすらぎ短信

令和6年  
4月号

## 祈年祭



長かった冬も終わりを告げ、花の便りが聞かれる頃となりました。この時期、浦幌町内の各部落神社では、春祭りが行われます。春祭りを正式に祈年祭（きねんさい・としごいのまつり）といいます。「年」（とし）は、「稲の美称」であり、「祈」（こい）は、「祈る・願う」ことを意味します。稲（いね）は、「命の根（根源）」であり、穀物の総称であり、お米を始めとする五穀豊穰を祈るのが祈年祭です。昔から、お米を主食とする日本人は、稲に食物を司る神様が宿ると考えてきました。この稲の神様は、『古事記』では宇迦之御魂神（うかのみたまのみ）、『日本書紀』では倉稲魂命（うかのみ

みたまのみこと）と表記されております。春に行われる「祈年祭」は、命を支える食物を今年も豊かに導いて下さるよ



瀬多来神社春祭りの様子

う神様に祈る大切な年中行事であり、この「祈り」が「稔り」に繋がると信仰してきました。「稔（みのる）」という字は、「禾（のぎへん）」に「念（ねんじる）」と書きます。「禾（のぎへん）」を使った漢字には、「種」「秋」「稲」「穂」「穂」など「稲」に関係する字が多く、稲を意味します。「稲」（食物の総称）の育成を「念じる」ことが「稔り」に繋がるといいます。その信仰を脈々と受け継いできたのが春祭りといえます。浦幌町内の各部落神社でも春祭りが伝承され、毎年、住民等が参列し厳粛に春祭りが斎行されております。

## 春の社日祭を斎行

去る三月二十一日、

浦幌神社境内に建立されている社日碑の大前にて、春の社日祭を斎行致しました。社日は、一年に春と秋の二回あります。春分の日、秋分の日に最も近い「戊」（つちのえ）



の日をさします。「戊」という文字には、「土」という意味があり、土地の神、農耕の神へのお祭りが行われます。本年も農作業の事故がなく、豊作となりますように参列とともに祈り致しました。



### 氏子会定期総会開催

去る三月二十六日に浦幌神社氏子会（馬場幸弘会長）の定期総会が開催されました。今年度は四年ぶりに書面会議ではなく、役員、総代、副総代、世話役の皆様にご参加をいただいたの通常開催となりました。総会は、慎重審議をいただき、案件すべてが原案どおり可決されました。本年度の当番区は、本町・栄町一区・栄町二区・住吉二区の四町内です。八月二十四日（土）・二十五日（日）に斎行される「夏季みこし祭」のお手伝いをお願い致します。今年も皆様のご協力をお願い申し上げます。

### 月毎限定御朱印 授与開始

今年度も四月より「月毎限定御朱印」の授与を開始致します。絵柄は、浦幌神社の杜（もり）に住む動物たち（シマエナガ・リス・フクロウ・タヌキ・キツツキ・キツネ・モモンガ・ウサギ・シカ）の輪の中に季節を代表する花を浮かべました。また、御朱印の横には季節を感じ

じる絵柄を描いております。

月毎の絵柄は左記のとおり。

- 四月 「桜・つくし」
- 五月 「菖蒲・兜」
- 六月 「紫陽花・和傘」
- 七月 「朝顔・笹・短冊」
- 八月 「向日葵・金魚」
- 九月 「小菊・月見団子・すすき」
- 十月 「桔梗・どんぐり・もみじ」
- 十一月 「秋桜・千歳飴」
- 十二月 「雪の花・雪だるま」
- 一月 「松・初日の出・富士山」
- 二月 「梅・節分豆」
- 三月 「桃の花・雛人形」

初穂料八〇〇円より。

### 四月（月毎限定御朱印）



※四月一日～三十日まで授与

### 交通安全自転車御守授与開始

昨年八月より、明治大学のサイクリスツツーリングクラブと共同で制作しておりました「交通安全自転車御守」が完成し、来る四月十二日より授与を開始致します。（初穂料 一〇〇〇円）

（表）



（裏）

### 浦幌神社の鯉のぼり

四月二十六日～五月五日までの間、子どもたちの健康を願い、境内に鯉のぼりを上げます。勇壮に泳ぐ鯉のぼりをどうぞ見に来て下さい。



発行 浦幌神社社務所  
 北海道十勝郡浦幌町字東山町十八番地の一  
 電話 〇一五・五七六・二四四八